

# 津久井湖城山公園だより

## 7月号



### ❀ 今後のイベント情報 ❀

7月5日 (土)	大豆のタネまき体験	公園の畑に「幻の大豆(津久井在来大豆)」の種をまこう!どなたでも参加大歓迎!長靴・帽子・タオル・水筒等をご持参ください。申込不要、参加費無料。9:30根小屋地区の研修棟前集合。
7月13日 (日)	城山昆虫 ふれあい講座	講師に吉谷昭憲氏をお迎えし、昆虫の不思議やすごさを探して観察します。10:00~12:30、参加費無料、 <u>要申込</u> 。先着20名の予定。
7月20日 (日)	津久井城 考古学講座②	津久井城500周年記念企画。「代官守屋左太夫陣屋跡遺跡の発掘調査」。10時~12時。根小屋地区研修棟集合。申込不要。津久井城500周年スタンプGET!
7月20日 (日)	いきものウォッチング	鳥や虫、植物など月毎の見所を紹介します。申込不要、参加費無料。パークセンター前10時集合。12時まで。
8月3日 (日)	津久井城 考古学講座③	津久井城500周年記念企画。「御屋敷曲輪発掘調査こぼれ話」。10時~12時。根小屋地区研修棟集合。申込不要。津久井城500周年スタンプGET!
8月11日 (月)	みんなの津久井湖 夏祭り	水の苑地にて15時~20時。飲食出店やステージイベント、ランタン揚げ、盆踊りなど盛りだくさん。浴衣で参加特典も。駐車場少ないのでご来場は公共交通機関でお願いします。詳しくは同名でネット検索!
8月16日 (土)	0歳から楽しもう! 音楽を	49回目になる0歳から100歳まで楽しもう!音楽を。今回は自然に包まれた森のステージにて開催。自然の中でマリンバのやさしい音色を体験しませんか? 17:00~18:00。無料。事前申込不要。場所:森のステージ
8月23日 (土)	城山昆虫 ふれあい講座	夜の昆虫を観察しよう!昆虫研究家の吉谷昭憲先生と共に夜の昆虫を観察してみませんか? <u>要申込</u> 。先着定員15名。17:30~20:00。無料。
8月24日 (日)	津久井城 戦国体験教室	「藍染でひらひら小旗づくり」藍の生葉染で、あなただけの藍染小旗を作ろう!10時~12時。研修棟にて。 <u>要申込</u> 。申込先着15名。材料代300円。

※申込制のイベントは基本的に1か月前の9:00からのお申込み(電話・窓口)です。

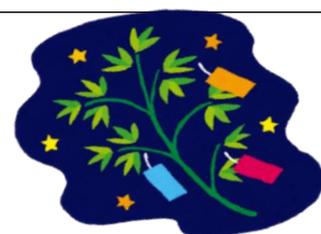
※イベント詳細はお電話等でお問合せください。

### ❀ 公園の定期開催情報 ❀

今月のクラフト  「フラワーボトル」 参加費:400円	土日祝日開催 *イベント開催時はお休み ①10:00~11:30 (受付は11:00まで) ②13:30~15:00 (受付は14:30まで)
15分でわかる! 城山スライド解説	第1・第3日曜日開催 6日、20日 14:00~14:15

### ❀ 今月のお休み ❀

7月7日(月)、22日(火)  
午前中、パークセンター・研修棟は  
お休みです。



# 7月公園の見どころ



## ●公園トピックス

今年の7月の天候は昨年と同様暑い夏を迎えることになるかもしれません。根小屋地区のパークセンターと研修棟は6月15日から暑熱避難場所(クーリングスポット)として運営しています。夏を代表するセミや夏の虫たちの活動は活発になり、青々と茂る緑は日に輝く季節です。ちょっと涼みにクーリングスポットを利用するもよし、公園に遊びにおいでください。

## ●パークセンター展示

パークセンターには様々な武具のレプリカが展示されていますが、今回は甲冑の隣や天井に展示されている「槍」についての解説をします。槍は矛(ほこ)から発展した「突く、刺す」を主な機能とする刺突(しとつ)武器です。槍は主に敵兵に対し「突く、斬る、叩く、払う」の実戦動作に加え、集団戦では下部の石突(いしづき)を地面に固定し、斜めに構え、敵の兵や騎馬隊を迎え撃ったそうです。複数の兵が隊列を整え、4~6メートルの槍を構える光景は、味方からすれば頼もしいでしょうが、敵騎馬兵からの視点では、恐怖以外の何物でもないと思います。

## ●いきものたち

日当たりの良い草原や林縁に、緑の中に目を引く「オカトラノオ」。直径約1センチの白い花が約10~30センチの穂状にたくさん集まって、この時期に花を咲かせます。横になびく花の穂はまさに虎の尾の様!? 花は穂の根元側からだんだんと咲いていきます。同じ場所に咲く株は皆同じ方向に穂が垂れ下がり、群生している様子は特に目をひきます。園内のあちこちで見られるので、見つけたら1つ1つの花もぜひ見てみてください。星形をしていて可愛らしいですよ。

## 🌀 城山遺構あらかると ▲▲

其之四十三 城坂(小字)  
「城坂」という名称は坂道のなまえに聞こえますが、一帯の小字(こあざ)名にもなっています。東側を西荒久、北側を城山、西側を根本、南側を東金原に四方を囲まれた一帯です。津久井城でみると御屋敷曲輪、しんでん、馬場など、おそらく山麓の中核部がこの「城坂」に集中していることとなります。そこへの入口部分「陣屋跡(江戸時代の遺構を残してあるので戦国時代の様相は不明)」がある西側の根本と牢屋の沢で区切られているのは、戦国時代からの区割りが影響しているのかなあという感想を抱くこともできますね。だとすると、南側の東金原とは、やはり区切りとしてちょうどよさそうな尻久保川よりも南側に境があるのはなぜなのでしょう?

## 津久井城電子矢文ご希望の方

公園の情報を毎月メールで配信しています。配信を希望される方はお名前(任意)と、本文に「津久井城電子矢文の配信希望」とお書きのうえ、下記メールアドレスにお知らせください。

tsukuikosiroyama@

kanagawa-park.or.jp

## 津久井湖城山公園パークセンター

TEL:042-780-2420 FAX:042-780-2422

<http://www.kanagawa-park.or.jp/tsukuikosiroyama/>

受付時間:年末年始以外の9:00~17:00)

指定管理者:神奈川県公園協会・サカタのタネグリーンサービスグループ

